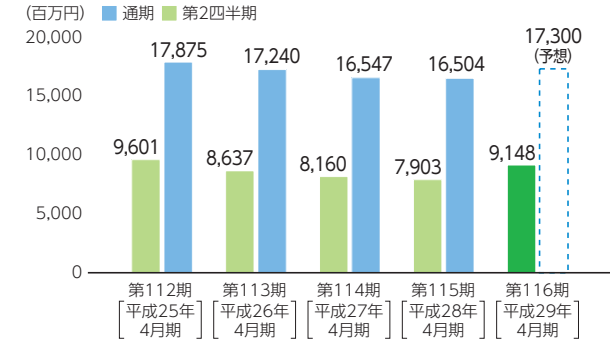
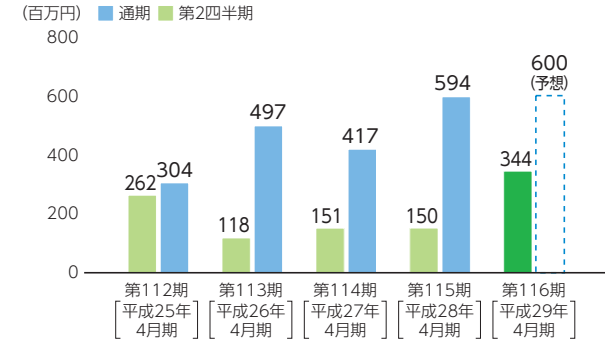


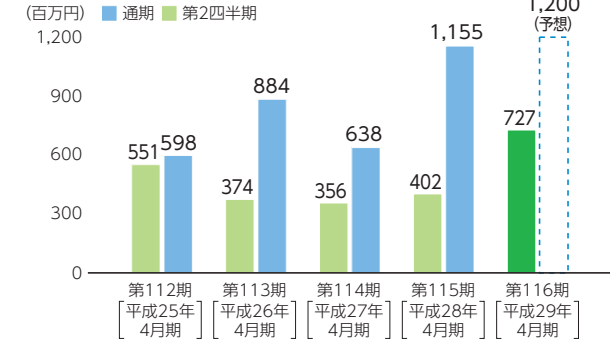
○売上高



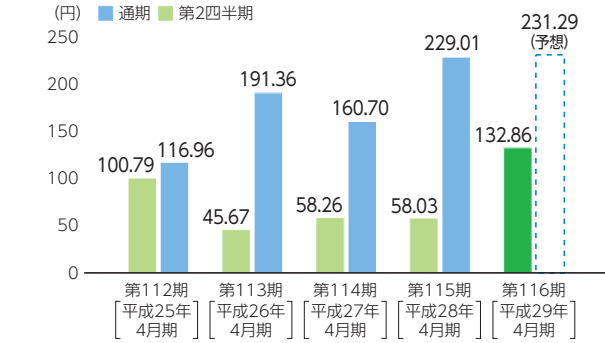
○親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



○営業利益

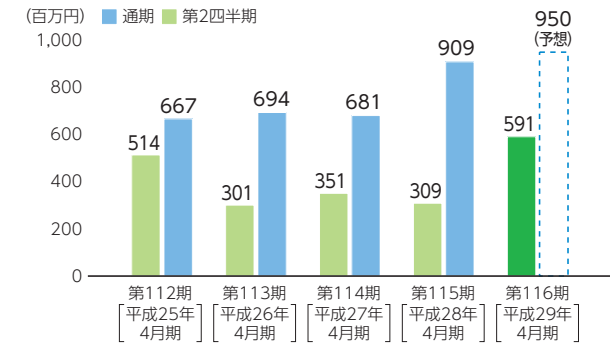


○1株当たり四半期(当期)純利益

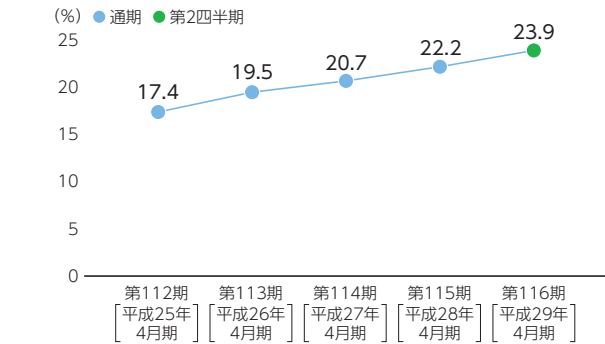


※平成28年11月1日付で10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。過去4年分は、当該株式併合を実施した場合の参考数値です。

○経常利益



○自己資本比率



会社概要

(平成28年10月31日現在)

設立 明治43年8月
 資本金 1,378百万円
 従業員数 808名(うち当社263名)
 東京本社 東京都港区新橋二丁目20番15-701号
 福山本社 広島県福山市一文字町14番14号
 工場 函館・福山
 事業所等 札幌・網走・石巻・東京・高岡・福山・九州・紋別・釧路・八戸・いわき

取締役及び監査役

(平成28年10月31日現在)

代表取締役社長	小山 林 宏 明
代表取締役専務	山本 吉 節 夫
代表取締役専務	高杉 森 和 良
取締役	三島 島 浩 重
取締役	小西 林 重 清
取締役	北岡 方 耕 浩
取締役	岡小 立 樹 彦
取締役	佐藤 川 隆 治
監査役	佐藤 川 隆 治
監査役	佐藤 川 隆 治

主要グループ会社

(平成28年10月31日現在)

【国内】
 多久製網株式会社
 株式会社泰東
 日東ネット株式会社
 有限会社温泉津 positioning
 日本ターニング株式会社
 【海外】
 レダス・ニットー・チリ・リミターダ(チリ)
 タイ・ニットウセイモウ・グローバル Co.,Ltd.(タイ)

株式の状況

(平成28年10月31日現在)

発行可能株式総数 64,000,000株
 ※平成28年11月1日付で10株につき1株の割合で株式併合を実施したことにより、6,400,000株となっております。
 発行済株式の総数 26,050,000株
 ※平成28年11月1日付で10株につき1株の割合で株式併合を実施したことにより、2,605,000株となっております。
 株主数 3,463名

株主メモ

事業年度 毎年5月1日から翌年4月30日まで
 定時株主総会 毎年7月下旬
 基準日 定時株主総会・期末配当：毎年 4月30日
 中間配当：毎年10月31日
 その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日。
 株主名簿管理人及び特別口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
 【郵便物送付先】 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社証券代行部 0120-782-031 (フリーダイヤル)
 【電話照会先】
 公告方法 電子公告
 <公告掲載URL> <http://www.nittoseimo.co.jp/>
 但し、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
 上場証券取引所 東京、名古屋

株式併合について

当社は平成28年11月1日をもって普通株式10株を1株とする株式併合及び、単元株式数を1,000株から100株とする変更を行いました(平成28年7月27日開催定時株主総会決議)。株主の皆様には新株式数を記載した「株式併合に伴う割当株式数のご通知」を11月30日に発送させていただいております。なお、株式併合の結果1株未満の端数株式が生じた株主の皆様には、これを一括処分し、その処分代金を端数株式数に応じてお支払申しあげます。

第116期 中間報告書

平成28年5月1日から平成28年10月31日まで



高品質な製品の提供を通じ、安全・安心な生活環境づくりに貢献していきます。



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

ここに、当社第116期第2四半期連結累計期間(平成28年5月1日から平成28年10月31日まで)の概況等につきましてご報告申し上げます。

今後とも皆様の変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

平成29年1月

代表取締役社長 **小林宏明**

Q1 当第2四半期の市場環境と業績はいかがでしたか？

当社製品の主力ユーザーである漁業関連業界は、台風や爆弾低気圧発生等の異常気象による海況異変や円高による水産物の輸出量の減少が懸念されることなど厳しい状況にあります。前年に引き続き漁船漁業の水揚げ

及び経営環境は概ね安定しております。

このような状況のもと、当社グループの売上高は、北海道地区等の定置網部門や陸上用ネットの施工工事の受注が順調であったため、前年同期と比べて増加しました。営業利益は、付加価値の高い定置網の売上高が増加したことや生産効率の向上に継続的に取り組んでいること及び経費削減の努力により前年同期と比べて増加しましたが、ドル安により為替差損が発生しました。また、仕立作業場の取壊しに伴う特別損失を計上しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は9,148百万円(前年同期比15.7%増)、営業利益は727百万円(同80.8%増)、経常利益は591百万円(同91.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は344百万円(同129.0%増)となりました。

Q2 通期の課題と対応、業績予想をお聞かせください。

漁業関連事業は、定置網や旋網部門の受注が引き続き堅調に推移するものと予想しております。また、オリジナル商材の販売を積極的に行い、売上高及び収益の確保、拡大を図ってまいります。

陸上関連事業につきましては、施工工事部門は、前期に引き続き堅調に推移するものと予想しております。陸上用ネット部門では、獣害防止ネット、防虫網、スポーツネット等主力商品を中心に積極的に拡販してまいります。

通期業績については、当第2四半期時点ではやや当初予想を上回り推移しておりますが、現時点では売上高は17,300百万円、営業利益は1,200百万円、経常利益は950百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は600百万円と予想を変更しておりません。配当につきましては、第116期の期末配当金として1株当たり40円を予定しております。

当社グループは、今後も業界のリーダーとして新たな時代の先頭に立ち、様々な角度から提案してまいります。株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

漁業関連事業

7,781百万円 (85.06%)

売上高は7,781百万円(前年同期比15.0%増)となりました。主な要因は、養殖網部門の受注はやや低調でしたが、前期に引き続き北海道地区の定置網部門の受注が好調だったことによるものです。セグメント利益は、付加価値の高い定置網の売上高が増加したことにより、688百万円(同64.9%増)となりました。

事業紹介



定置網



旋網



海苔網

定置網をはじめ、旋網、曳網、養殖網、海苔網など、漁業に欠かせない製品を数多く提供しております。また、漁場設定や漁場調査、漁場に適した網の設計、仕立といったソフト面のサポートも充実しております。さらには、漁獲された魚の販売や販売先の紹介など、漁業の現場に即した事業展開を心がけております。これからも最新技術を駆使して、お客様のご要望にきめ細かく対応してまいります。

陸上関連事業

1,362百万円 (14.89%)

売上高は1,362百万円(前年同期比20.7%増)となりました。主な要因は、陸上用ネットの施工工事の受注が順調に推移したこと及び産業用資材の受注が回復してきたことによるものです。セグメント利益は、売上高が増加したことにより、39百万円(前年同期は15百万円の損失)となりました。

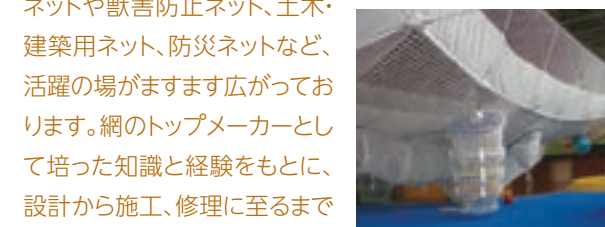
事業紹介



防虫網



獣害防止ネット



遊具ネット

ご家庭の網戸や各種スポーツネット、建設現場から農業用途に至るまで、さまざまなシーンでご利用いただける製品を提供しております。中でも、防虫網は独自に開発した高耐候・高強度のポリオレフィン原糸を使用しております。焼却しても有毒ガスを排出せず、環境に優しい素材です。このほか、防球ネットや獣害防止ネット、土木・建築用ネット、防災ネットなど、活躍の場がますます広がっております。網のトップメーカーとして培った知識と経験をもとに、設計から施工、修理に至るまで一貫して対応してまいります。

